

令和 3 年

三重県議会定例会会議録

(5 月 18 日)
(第 14 号)

第
14
号
5
月
18
日

令和 3 年

三重県議会定例会会議録

第 14 号

○令和 3 年 5 月 18 日（火曜日）

紹 介

○議長（日沖正信） 会議に先立ち、去る 3 月 31 日に選挙いたしました選挙管理委員、並びに 4 月 1 日及び 4 月 2 日に選任されました監査委員の方々を御紹介いたします。

〔中西委員、富永委員、野田委員、田中委員、内田委員、伊藤委員の順で入場〕

○議長（日沖正信） それでは、中西正洋選挙管理委員、御挨拶願います。

○選挙管理委員（中西正洋） 選挙管理委員に選任されました中西正洋と申します。よろしく願います。（拍手）

○議長（日沖正信） 次に、富永健選挙管理委員、御挨拶願います。

○選挙管理委員（富永 健） 選挙管理委員に選任されました富永健と申します。どうぞよろしく願います。（拍手）

○議長（日沖正信） 次に、野田恵子選挙管理委員、御挨拶願います。

○選挙管理委員（野田恵子） 選挙管理委員に選任されました野田恵子と申します。よろしく願います。（拍手）

○議長（日沖正信） 次に、田中利佳選挙管理委員、御挨拶願います。

○選挙管理委員（田中利佳） 選挙管理委員に選任されました田中利佳と申します。どうぞよろしく願います。（拍手）

○議長（日沖正信） 次に、内田典夫監査委員、御挨拶願います。

○監査委員（内田典夫） 監査委員の内田典夫です。引き続き、よろしく願います。（拍手）

○議長（日沖正信） 次に、伊藤隆監査委員、御挨拶願います。

○監査委員（伊藤 隆） 監査委員に選任されました伊藤隆でございます。どうぞよろしく願います。（拍手）

○議長（日沖正信） 以上で紹介を終わります。

〔中西委員、富永委員、野田委員、田中委員、内田委員、伊藤委員退場〕

議事日程（第14号）

令和3年5月18日（火）午前10時開議

- 第1 意見書案第4号
〔採決〕
- 第2 決議案第3号
〔採決〕
- 第3 常任委員会の委員定数変更の件
- 第4 常任委員選任の件
- 第5 議会運営委員選任の件
- 第6 特別委員会設置並びに委員定数の件
- 第7 特別委員選任の件
- 第8 四日市港管理組合議会議員選挙の件
- 第9 議案第87号
〔採決〕
- 第10 議員派遣の件

会議に付した事件

- 日程第1 意見書案第4号
- 日程第2 決議案第3号
- 日程追加 議長辞職の件
- 日程追加 議長選挙の件

日程追加	副議長辞職の件
日程追加	副議長選挙の件
日程第3	常任委員会の委員定数変更の件
日程第4	常任委員選任の件
日程第5	議会運営委員選任の件
日程第6	特別委員会設置並びに委員定数の件
日程第7	特別委員選任の件
日程追加	常任委員辞任の件
日程第8	四日市港管理組合議会議員選挙の件
日程第9	議案第87号
日程第10	議員派遣の件

会議に出欠席の議員氏名

出席議員 50名

1	番	川 口	円
2	番	喜 田	健 児
3	番	中 瀬	信 之
4	番	平 畑	武
5	番	石 垣	智 矢
6	番	小 林	貴 虎
7	番	山 本	佐知子
8	番	山 崎	博
9	番	中瀬古	初 美
10	番	廣	耕太郎
11	番	下 野	幸 助
12	番	田 中	智 也
13	番	藤 根	正 典
14	番	小 島	智 子

15	番	木	津	直	樹
16	番	田	中	祐	治
17	番	野	口		正
18	番	野	村	保	夫
19	番	山	内	道	明
20	番	山	本	里	香
21	番	稻	森	稔	尚
22	番	濱	井	初	男
23	番	森	野	真	治
24	番	津	村		衛
25	番	杉	本	熊	野
26	番	藤	田	宜	三
27	番	稻	垣	昭	義
28	番	石	田	成	生
29	番	小	林	正	人
30	番	服	部	富	男
31	番	村	林		聡
32	番	谷	川	孝	栄
33	番	東			豊
34	番	長	田	隆	尚
35	番	奥	野	英	介
36	番	今	井	智	広
37	番	北	川	裕	之
38	番	日	沖	正	信
39	番	舟	橋	裕	幸
40	番	三	谷	哲	央
41	番	中	村	進	一
43	番	津	田	健	児

44	番	中 嶋	年 規
45	番	青 木	謙 順
46	番	中 森	博 文
47	番	前 野	和 美
48	番	山 本	教 和
49	番	西 場	信 行
50	番	中 川	正 美
51	番	館	直 人
(42)	番	欠	番

職務のため出席した事務局職員の職氏名

事務局長	坂 三 雅 人
書 記 (事務局次長)	畑 中 一 宝
書 記 (議事課長)	前 川 幸 則
書 記 (企画法務課長)	小 野 明 子
書 記 (議事課課長補佐兼班長)	佐 竹 宴
書 記 (議事課主幹兼係長)	林 良 充
書 記 (議事課主査)	中 西 孝 朗

会議に出席した説明員の職氏名

知 事	鈴 木 英 敬
副 知 事	廣 田 恵 子
副 知 事	服 部 浩
危機管理統括監	日 沖 正 人
総 務 部 長	高 間 伸 夫

午前10時0分開議

開 議

○議長（日沖正信） ただいまから本日の会議を開きます。

諸 報 告

○議長（日沖正信） 日程に入るに先立ち、報告いたします。

文書による質問が提出され、知事に送付しましたので、さきに配付いたしました。

次に、意見書案第4号が提出されましたので、お手元に配付いたしました。

次に、決議案第3号が提出されましたので、お手元に配付いたしました。

次に、説明のための出席要求につきましては、お手元に配付の名簿のとおり、出席を求めました。

以上で報告を終わります。

意見書案第4号

豚熱（CSF）の防疫対策の強化等を求める意見書案
上記提出する。

令和3年5月17日

提 出 者

川 口 円
石 垣 智 矢
山 本 佐知子
中瀬古 初 美
小 島 智 子
野 村 保 夫
山 内 道 明
山 本 里 香
稲 森 稔 尚
藤 田 宜 三

石 田 成 生
谷 川 孝 栄

豚熱（CSF）の防疫対策の強化等を求める意見書案

平成30年9月に国内で26年ぶりに発生した豚熱（CSF）については、飼養豚へのワクチン接種等の防疫対策が継続されているが、ワクチン接種農場においても発生が確認されるなど、2年を経てもなお収束していない状況である。

本県においては、令和元年7月に初めて豚熱の発生が確認された後、令和2年12月にワクチン接種農場においても発生が確認され、7,000頭以上の豚が殺処分された。その後も豚熱の未然防止に向けたワクチン接種、飼養衛生管理基準の遵守徹底、野生動物に対する侵入防止対策の強化、野生いのししの捕獲強化、経口ワクチンの散布など、養豚関係者、地方自治体等による懸命の努力がなされてきたが、令和3年4月にはワクチン接種農場において県内3例目となる豚熱の発生が確認され、約10,900頭にも上る豚が全頭殺処分された。また、感染源とされる野生いのししの豚熱の陽性確認も今なお続いている状況である。

よって、本県議会は、このような切実な状況を踏まえ、豚熱の防疫対策の強化等を図ることにより、養豚関係者が安心して事業を継続・発展できるよう、国において、下記の事項について措置を講ずるよう強く求める。

記

- 1 ワクチン接種農場で豚熱感染が確認された場合の殺処分については、野外にウイルスが拡散しないよう防止対策を徹底するなど一定の措置を講じた上で、発症しておらず豚熱感染リスクが極めて低いと判断されるワクチン接種豚は殺処分の対象外とすること。
- 2 飼養豚へのワクチン接種については、感染リスクの高い離乳豚への感染防止等に向け、民間獣医師の更なる活用を含め、ワクチンの抗体付与の状況を

きめ細かく把握するための検査体制の充実強化とともに、抗体付与率を一層高めるための効果的な接種方法の早期確立を図ること。

- 3 豚熱発生農場に交付される殺処分家畜等に対する手当金や家畜防疫互助基金支払金について、経営再開がスムーズに進むよう免税措置を講ずること。
- 4 感染源とされる野生いのししへの対策については、捕獲強化や経口ワクチンの効果的な散布の取組をより一層進めるなど、豚熱の撲滅に向け、対策を早急に広域にわたり講ずること。
- 5 地方公共団体が行う豚熱の防疫措置等の財源について、十分な財政支援を行うこと。

以上のとおり、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 年 月 日

三重県議会議長 日 沖 正 信

(提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣

決議案第3号

議員自らの人権意識の更なる高揚を図り、人権が尊重される三重
を先導するための決議案

上記提出する。

令和3年5月17日

提出者

川 口 円

石 垣 智 矢

山 本 佐知子

中瀬古 初 美

小 島 智 子

野 村 保 夫
山 内 道 明
山 本 里 香
稲 森 稔 尚
藤 田 宜 三
石 田 成 生
谷 川 孝 栄

議員自らの人権意識の更なる高揚を図り、人権が尊重される三重
を先導するための決議案

三重県では、性別、年齢、障がいの有無、国籍・文化的背景、性的指向及び性自認、出自などにかかわらず、誰もが個人として尊重され、個性や能力を十分に発揮し、参画・活躍できる多様性を認め合う地域社会の実現を目指して取り組んでいる。

このような中、本県議会議員によるインターネット上での県民に対するプライバシーの侵害や、誹謗中傷及び差別表現への賛同表明等の事案が発生した。インターネット上で一旦掲載された内容は、拡散してインターネット上に残り、より深刻な人権侵害を引き起こすこととなった。また、県民が公選職にある者に対し自由に意見を述べることは重要なことであるが、そのことに萎縮をもたらす結果ともなった。

この一連の事案はあってはならないことであって、それに対して、県民から抗議の声が多数寄せられ、県民の県議会への信頼が損なわれる状況となっており、三重県議会全体が人権意識を問い直さなければならない。

本県議会では、全国に先駆けて「人権県宣言」を行い、「あらゆる差別を撤廃し、すべての県民の人権が保障される明るく住みよい地域社会の実現を期する」ことを決議した。その後県当局において「人権が尊重される三重をつくる条例」が制定され、人権が尊重される社会の実現に関する施策が進められている。

また、「三重県議会議員の政治倫理に関する条例」においては、その前文で「議会制民主主義の健全な発展は、我々議員に対する県民の揺るぎない信頼があつて初めて成し遂げられるものである。そのためには、県民の負託を受けた我々議員の高い倫理観と深い見識が不可欠である。」と議員の立場と政治倫理に関する取組姿勢を明記している。

ここに改めて、我々議員自身が「人権県宣言」に関する決議に立ち返り、「人権が尊重される三重をつくる条例」の理念である、不当な差別のない、人権が尊重される、明るく住みよい社会を実現するため、自らの人権意識の高揚に努めるとともに、相互に人権を尊重し、人権を侵害してはならないとの県民等の責務を、我々議員自らが率先して実行していくことを強く決意する。

以上、決議する。

令和 年 月 日

三 重 県 議 会

意 見 書 案 審 議

○議長（日沖正信） 日程第1、意見書案第4号豚熱（CSF）の防疫対策の強化等を求める意見書案を議題といたします。

お諮りいたします。本件は、議事進行上、趣旨説明、質疑並びに委員会付託を省略し、直ちに採決いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（日沖正信） 御異議なしと認め、本件は、趣旨説明、質疑並びに委員会付託を省略し、直ちに採決することに決定いたしました。

採 決

○議長（日沖正信） これより採決に入ります。

意見書案第4号を起立により採決いたします。

本案を原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[賛成者起立]

○議長（日沖正信） 起立全員であります。よって本案は原案のとおり可決されました。

決 議 案 審 議

○議長（日沖正信） 日程第2、決議案第3号議員自らの人権意識の更なる高揚を図り、人権が尊重される三重を先導するための決議案を議題といたします。

お諮りいたします。本件は、議事進行上、趣旨説明、質疑並びに委員会付託を省略し、直ちに採決いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（日沖正信） 御異議なしと認め、本件は趣旨説明、質疑並びに委員会付託を省略し、直ちに採決することに決定いたしました。

採 決

○議長（日沖正信） これより採決に入ります。

決議案第3号を起立により採決いたします。

本案を原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

[賛成者起立]

○議長（日沖正信） 起立全員であります。よって本案は原案のとおり可決されました。

休 憩

○議長（日沖正信） 着席のまま、暫時休憩いたします。

午前10時9分休憩

午前10時10分開議

開 議

○副議長（服部富男） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程追加・議長の辞職

○副議長（服部富男） この際、申し上げます。

日沖正信議長から辞職願が提出されましたので、会議規則第18条第1項の規定により、議長辞職の件を日程に追加し、直ちに議題といたします。

お諮りいたします。日沖正信議長の辞職を許可することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（服部富男） 御異議なしと認めます。よって、日沖正信議長の辞職を許可することに決定いたしました。

〔38番 日沖正信議員入場・着席〕

○副議長（服部富男） 前議長 日沖正信議員の御挨拶があります。

〔38番 日沖正信議員登壇〕

○38番（日沖正信） 議長を退任するに当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

昨年5月に第110代三重県議会議長として御推挙いただいて以来、服部副議長をはじめ議員の皆様から御指導、御支援をいただき、また、知事をはじめとする執行部の皆様から御協力をいただいております。

心から厚く御礼を申し上げます。

在任中の1年を振り返ってみますと、まず、この1年間は、新型コロナウイルス感染症への対応のため、県議会としても全力で取り組んだ1年であったかと思えます。

全員協議会における県当局からの対策等の確認や定例会議はもちろんのこと、緊急会議の開催など補正予算等の審議を柔軟かつ迅速に行ってまいりました。

コロナ禍において求められました柔軟で迅速な対応につきましては、三重

県議会が導入しております通年議会としての強みを発揮できたものと考えております。

また、議会運営におきましても、三重県議会新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを策定し、それに基づき、飛沫防止シールドの設置や換気休憩など状況の変化に的確に対応しつつ、細心の注意を払い臨んでまいりました。

特に、非常時においても、県民の負託に応えるべく、委員会をリモートで開催することができるよう、委員会条例の改正を行ったことも意義深いことであったというふうに思っております。

また一方では、私が就任時から願っておりました市町議会との連携交流につきましても、市町議会に赴き実施した意見交換をはじめ、昨年10月には市議会議長会会長並びに町村議会議長会会長と共に意見書を国へ提出し、連携して要望の実現を働きかけたことも深く印象に残っておりましてございます。

次に、政策立案の取組としては、三重県産材利用促進に関する条例検討会での審議の結果、三重の木づかい条例を2月定例会会議で可決し、令和3年4月に施行いたしました。今後、条例に基づく取組が進むことによりまして、地域経済が活性化されるとともに、県民の豊かな暮らしの実現につながることを期待いたしております。

さらに、議員の定数及び選挙区につきましても、選挙区及び定数に関する在り方調査会の委員の皆様の御尽力により、報告書を提出いただきました。そして、その後、報告書を踏まえた議会での協議を経て、議提議案として条例改正案が提出され、去る11日に可決に至りました。

また、本日の会議において、決議案を可決いただいたところでございますが、人権の尊さについて、私たちは改めて深く考えることとなる機会もございました。

こうした様々な事柄がございました中で、この1年間、議長を務めさせていただいたことは、私にとりまして貴重で得難い経験となりました。今後はこの経験を生かしまして、一議員として県政推進のために、微力ながら努力

を重ねてまいる所存でございますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

最後にいま一度、県民の皆様、知事はじめ執行部の皆様、在任中支えていただいた議会事務局の皆様、そして各議員の皆様に感謝申し上げますとともに、三重県の今後の一層の発展と、三重県議会が二元代表制の一翼を担う議会としての進化を続けることを祈念し、退任の挨拶とさせていただきます。

1年間、誠にありがとうございました。お世話になりました。（拍手）

日程追加・議長の選挙

○副議長（服部富男） この際、申し上げます。

会議規則第18条第1項の規定により、議長選挙の件を日程に追加し、直ちに議長の選挙を行います。

選挙は投票により行います。

議場を閉鎖いたします。

〔議場閉鎖〕

○副議長（服部富男） ただいまの出席議員数は50名であります。

お諮りいたします。会議規則第24条第2項の規定により、立会人として、

2番 喜田健児議員

31番 村林聡議員

を指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（服部富男） 御異議なしと認めます。よって、立会人に、2番 喜田健児議員、31番 村林聡議員を指名いたします。

投票用紙と名札を配付いたします。

〔投票用紙、名札配付〕

○副議長（服部富男） 投票用紙と名札の配付漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（服部富男） 配付漏れなしと認めます。

次に、投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

○副議長（服部富男） 異状なしと認めます。

念のため申し上げます。

投票は単記無記名であります。

投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、名札を持参し、議席順に1番川口円議員から順次投票を願います。

〔投票執行〕

○副議長（服部富男） 投票漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（服部富男） 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

〔議場開鎖〕

○副議長（服部富男） これより開票を行います。

立会人の方、立会いをお願いいたします。

〔開票〕

○副議長（服部富男） 選挙の結果を報告いたします。

投票総数 50票

有効投票 42票

無効投票 8票

有効投票中

青木謙順議員 40票

前野和美議員 1票

稲森稔尚議員 1票

以上のおおりであります。

この選挙の法定得票数は11票であります。よって、青木謙順議員が議長に当選されました。

投 票 者 氏 名

1	番	川 口	円
2	番	喜 田	健 児
3	番	中 瀬	信 之
4	番	平 畑	武
5	番	石 垣	智 矢
6	番	小 林	貴 虎
7	番	山 本	佐知子
8	番	山 崎	博
9	番	中瀬古	初 美
10	番	廣	耕太郎
11	番	下 野	幸 助
12	番	田 中	智 也
13	番	藤 根	正 典
14	番	小 島	智 子
15	番	木 津	直 樹
16	番	田 中	祐 治
17	番	野 口	正
18	番	野 村	保 夫
19	番	山 内	道 明
20	番	山 本	里 香
21	番	稲 森	稔 尚
22	番	濱 井	初 男
23	番	森 野	真 治
24	番	津 村	衛
25	番	杉 本	熊 野
26	番	藤 田	宜 三
27	番	稲 垣	昭 義

28	番	石	田	成	生
29	番	小	林	正	人
30	番	服	部	富	男
31	番	村	林		聡
32	番	谷	川	孝	栄
33	番	東			豊
34	番	長	田	隆	尚
35	番	奥	野	英	介
36	番	今	井	智	広
37	番	北	川	裕	之
38	番	日	沖	正	信
39	番	舟	橋	裕	幸
40	番	三	谷	哲	央
41	番	中	村	進	一
43	番	津	田	健	児
44	番	中	嶋	年	規
45	番	青	木	謙	順
46	番	中	森	博	文
47	番	前	野	和	美
48	番	山	本	教	和
49	番	西	場	信	行
50	番	中	川	正	美
51	番	舘		直	人

○副議長（服部富男） 議長に当選されました青木謙順議員が議場におられますので、当選の通知をいたします。

青木謙順議長、御挨拶をお願いいたします。

〔青木謙順議長登壇〕

○議長（青木謙順） 議長就任に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

ただいまの議長選挙におきまして、皆様の温かい御支持をいただき、第111代三重県議会議長の重責を担うこととなりました。誠に身に余る光栄であり、御厚情に対しまして心より感謝申し上げます。

この上は、議長の職責の重さを胸に刻み、三重県議会基本条例の基本理念と基本方針に基づき、二元代表制の下で議会改革を推し進め、三重県政の進展と円滑な議会運営のために全力を尽くす覚悟でございます。

議員の皆様のお指導、御鞭撻並びに知事をはじめ執行部の方々の御協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございます。（拍手）

○副議長（服部富男） 青木謙順議長、議長席にお着きを願います。

〔服部富男副議長退席・退場、青木謙順議長議長席に着く〕

日程追加・副議長の辞職

○議長（青木謙順） この際、申し上げます。

服部富男副議長から辞職願が提出されましたので、会議規則第18条第1項の規定により、副議長辞職の件を日程に追加し、直ちに議題といたします。

お諮りいたします。服部富男副議長の辞職を許可することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（青木謙順） 御異議なしと認めます。よって、服部富男副議長の辞職を許可することに決定いたしました。

〔30番 服部富男議員入場・着席〕

○議長（青木謙順） 前副議長 服部富男議員の御挨拶があります。

〔30番 服部富男議員登壇〕

○30番（服部富男） 副議長を退任するに当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

昨年5月に、皆様の御推挙により、第114代副議長に就任いたしましてか

ら1年が経過し、本日その職を辞することとなりました。

在任中は日沖議長をはじめ議員の皆様方にお力添えをいただき、また知事をはじめ執行部の皆様の御協力により、職務を終えることができました。

心から厚くお礼を申し上げます。

この1年を顧みますと、日沖議長の職務を補佐するとともに、新型コロナウイルスというこれまで経験したことのない危機の中、広聴広報会議の座長として開かれた議会運営の実現のためにどうしていくのか、委員の皆様と共に考え、歩んだ1年でありました。新型コロナウイルス感染症が拡大する中、広聴広報会議を急遽開催して、みえ県議会出前講座や現場で県議会の中止を決定するなど、幾つかの事業については実施を断念せざるを得ませんでした。そのような中ではありましたが、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ様々な課題に対する三重県議会の取組について、みえ県議会だよりやみえ県議会新聞などで県民の皆様にお伝えできるよう工夫を凝らし、報道機関の皆様にも御協力をいただき、積極的に情報発信できたのではないかと考えております。

この1年間、伝統ある三重県議会の副議長を務めさせていただきましたことは、私にとりまして、大変ありがたく、意義深い経験でありました。今後はこの経験をしっかりと生かし、一議員として県政発展のため、一層尽力してまいります。

どうか、なお一層の御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、副議長退任の御挨拶とさせていただきます。1年間ありがとうございました。
(拍手)

日程追加・副議長の選挙

○議長（青木謙順） この際、申し上げます。

会議規則第18条第1項の規定により、副議長選挙の件を日程に追加し、直ちに副議長の選挙を行います。

選挙は投票により行います。

議場を閉鎖いたします。

〔議 場 閉 鎖〕

○議長（青木謙順） ただいまの出席議員数は50名であります。

お諮りいたします。会議規則第24条第2項の規定により、立会人として、

6番 小林 貴 虎 議員

32番 谷 川 孝 栄 議員

を指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（青木謙順） 御異議なしと認めます。よって、立会人に、6番 小林貴虎議員、32番 谷川孝栄議員を指名いたします。

投票用紙と名札を配付いたします。

〔投票用紙、名札配付〕

○議長（青木謙順） 投票用紙と名札の配付漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（青木謙順） 配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

〔投 票 箱 点 検〕

○議長（青木謙順） 異状なしと認めます。

念のために申し上げます。

投票は単記無記名であります。

投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、名札を持参し、議席順に1番 川口円議員から順次投票を願います。

〔投 票 執 行〕

○議長（青木謙順） 投票漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（青木謙順） 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

〔議 場 開 鎖〕

○議長（青木謙順） これより開票を行います。

立会人の方、立会いを願います。

〔開 票〕

○議長（青木謙順） 選挙の結果を報告いたします。

投票総数 50票

有効投票 44票

無効投票 6票

有効投票中

稲垣昭義議員 42票

藤田宜三議員 1票

稲森稔尚議員 1票

以上のとおりであります。

この選挙の法定得票数は11票であります。よって、稲垣昭義議員が副議長に当選されました。

投 票 者 氏 名

1	番	川 口	円
2	番	喜 田	健 児
3	番	中 瀬	信 之
4	番	平 畑	武
5	番	石 垣	智 矢
6	番	小 林	貴 虎
7	番	山 本	佐知子
8	番	山 崎	博
9	番	中瀬古	初 美
10	番	廣	耕太郎
11	番	下 野	幸 助

12	番	田	中	智	也
13	番	藤	根	正	典
14	番	小	島	智	子
15	番	木	津	直	樹
16	番	田	中	祐	治
17	番	野	口		正
18	番	野	村	保	夫
19	番	山	内	道	明
20	番	山	本	里	香
21	番	稻	森	稔	尚
22	番	濱	井	初	男
23	番	森	野	真	治
24	番	津	村		衛
25	番	杉	本	熊	野
26	番	藤	田	宜	三
27	番	稻	垣	昭	義
28	番	石	田	成	生
29	番	小	林	正	人
30	番	服	部	富	男
31	番	村	林		聡
32	番	谷	川	孝	栄
33	番	東			豊
34	番	長	田	隆	尚
35	番	奥	野	英	介
36	番	今	井	智	広
37	番	北	川	裕	之
38	番	日	沖	正	信
39	番	舟	橋	裕	幸

40	番	三	谷	哲	央
41	番	中	村	進	一
43	番	津	田	健	児
44	番	中	嶋	年	規
45	番	青	木	謙	順
46	番	中	森	博	文
47	番	前	野	和	美
48	番	山	本	教	和
49	番	西	場	信	行
50	番	中	川	正	美
51	番	館		直	人

○議長（青木謙順） 副議長に当選されました稲垣昭義議員が議場におられますので、当選の通知をいたします。

稲垣昭義副議長、御挨拶を願います。

〔稲垣昭義副議長登壇〕

○副議長（稲垣昭義） 副議長就任に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

ただいま議員の皆様の御推挙により、第115代三重県議会副議長の要職を担うこととなりました。大変光栄に存じますとともに、職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。改めて、議員の皆様の御高配に対しまして、心よりお礼申し上げます。

この上は、微力ではございますが、議長を補佐し、円滑な議事運営と県政発展のため最善の努力をしまいる所存でございます。議員の皆様の御指導、並びに知事をはじめ執行部の方々の御協力をお願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。（拍手）

休 憩

- 議長（青木謙順） 暫時休憩いたします。
午前10時55分休憩

午前11時15分開議

開 議

- 議長（青木謙順） 休憩前に引き続き会議を開きます。

常任委員会の委員定数変更

- 議長（青木謙順） 日程第3、常任委員会の委員定数変更の件を議題といたします。

お諮りいたします。常任委員会の委員定数は、戦略企画雇用経済常任委員会9名、環境生活農林水産常任委員会8名、医療保健子ども福祉病院常任委員会8名、教育警察常任委員会9名といたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 議長（青木謙順） 御異議なしと認めます。よって、常任委員会の委員定数は、戦略企画雇用経済常任委員会9名、環境生活農林水産常任委員会8名、医療保健子ども福祉病院常任委員会8名、教育警察常任委員会9名とすることに決定いたしました。

常 任 委 員 の 選 任

- 議長（青木謙順） 日程第4、常任委員選任の件を議題といたします。

お諮りいたします。常任委員会の委員の選任につきましては、委員会条例第6条第1項の規定により、議長から、お手元に配付の各常任委員名簿のどおりそれぞれ指名したいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（青木謙順） 御異議なしと認めます。よって、それぞれ議長指名の
おり決定いたしました。

常任委員名簿

委員名 (定数)	総務地域連携 デジタル社会推進 (9名) (次頁1)	戦略企画雇用経済 (9名)	環境生活農林水産 (8名)	医療保健子ども福祉病院 (8名)	防災県土整備企業 (8名)	教育警察 (9名)
会派						
新 政 み え	4名 川口 真 治 森野 真 直 藤田 宜 裕 舟橋 裕 幸	3名 藤根 正 典 津村 衛 央 谷 哲 三	4名 中瀬 信 之 濱井 初 男 杉本 熊 野 中村 進 一	4名 下野 幸 助 田 中 智 也 稲垣 昭 義 日 沖 正 信	3名 平 畑 武 美 中瀬 古 初 小 島 智 子	3名 喜 田 健 児 廣 耕 太 郎 北 川 裕 之
自 由 民 主 党	2名 石垣 智 博 中 森 文 文	3名 石 成 生 小林 正 人 服 部 富 男	2名 小林 貴 虎 野 口 正	2名 山 本 佐 知 子 津 田 健 児	3名 山 崎 博 中 嶋 年 規 前 野 和 美	3名 木 津 直 樹 田 中 祐 治 青 木 謙 順
自 民 党	1名 舘 直 人	1名 野 村 保 夫	1名 山 本 教 和	1名 西 場 信 行	1名 中 川 正 美	1名 村 林 聡
草 莽 党	1名 舘 直 人	1名 長 田 隆 尚	1名 奥 野 英 介		1名 東 豊	1名 谷 川 孝 栄
公 明 党	1名 今 井 智 広			1名 山 内 道 明		
日 本 共 産 党	1名 山 本 里 香					
草の根運動いしが						1名 稲 森 総 尚

常任委員名簿

会派	委員名 (定数)	予算	決算	算										
新	政 委 員 み え	川 口 中 藤 津 北 中	丸 美 典 衛 之 一 初 正 裕 進	喜 廣 小 杉 日	田 島 本 冲	健 児 耕 太 郎 智 智 熊 正 信	中 下 濱 藤 舟	瀬 野 井 田 橋	信 幸 初 宜 裕	之 助 男 三 幸	平 田 森 稻 三	畑 中 野 垣 谷	武 也 治 義 央 智 真 昭 哲	
		石 垣 木 小 中	矢 樹 人 文 智 直 正 博	小 田 服 前	林 中 部 野	貴 祐 富 和 美	山 野 津	本 口 田 健 児	山 崎 田 嶋	石 中	佐 知 子 正 児	山 石 中	西 場 信 行	博 生 規 成 年
自	民 主 党 議 団	野 村 中	夫 美	村 林	聡	山 本 教 和	5 名	5 名	長 田 隆 尚	奥 野 英 介	5 名	2 名	1 名	1 名
		谷 川 翁	孝 直 人	東	豊	今 井 智 広	山 内 道 明	山 本 里 香	稲 森 稔 尚	2 名	1 名	1 名	1 名	1 名
公	明 党	山 内 道 明	今 井 智 広	山 本 里 香	稲 森 稔 尚	2 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名
日	本 共 産 党	山 本 里 香	稲 森 稔 尚	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名
草	の 根 運 動 い が	稲 森 稔 尚	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名

議 会 運 営 委 員 の 選 任

○議長（青木謙順） 日程第5、議会運営委員選任の件を議題といたします。

お諮りいたします。議会運営委員会の委員の選任につきましては、委員会条例第6条第1項の規定により、議長から、お手元に配付の議会運営委員名簿のとおり指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（青木謙順） 御異議なしと認めます。よって、議長指名のとおり決定いたしました。

議 会 運 営 委 員 名 簿

会派	委員会名 (定数)
	議 会 運 営 (9名)
	4名
新 政 み え	藤 根 正 典 津 村 衛 舟 橋 裕 幸 三 谷 哲 央
	3名
自 由 民 主 党 県 議 団	石 田 成 生 小 林 正 人 中 森 博 文
	1名
自 民 党	村 林 聡
	1名
草 莽	長 田 隆 尚
公 明 党	
日 本 共 産 党	
草 の 根 運 動 い が	

特別委員会設置並びに委員定数

○議長（青木謙順） 日程第6、特別委員会設置並びに委員定数の件を議題といたします。

お諮りいたします。特別委員会の設置並びに委員定数につきましては、お手元の配付の一覧表のとおりとし、審議終了まで継続調査を認めることとしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（青木謙順） 御異議なしと認めます。よって、特別委員会の設置並びに委員定数につきましては、お手元に配付の一覧表のとおりとし、審査終了まで継続調査を認めることに決定いたしました。

特別委員会設置一覧表

名 称	所 管 事 項	定数
花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会	アフターコロナを見通し、花や木で美しい三重のまちづくりを進めていくこと等により、心身ともに健やかな県民の暮らしを実現するための条例の策定に向け、調査・検討を行うこと	1 1

特 別 委 員 の 選 任

○議長（青木謙順） 日程第7、特別委員選任の件を議題といたします。

お諮りいたします。特別委員会の委員の選任につきましては、委員会条例第6条第1項の規定により、議長から、お手元に配付の特別委員名簿のとおり指名したいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（青木謙順） 御異議なしと認めます。よって、議長指名のとおり決定

いたしました。

特 別 委 員 名 簿

会派	委員会名 (定数)	花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査 (11名)
新 政 み え		4名
		中瀬古 初 美 濱井 初 男 杉本 熊 野 藤田 宜 三
自 由 民 主 党 団		3名
		山本 佐知子 小林 正 人 津田 健 児
自 民 党		2名
		野村 保 夫 中川 正 美
草 莽		1名
		東 豊
公 明 党		
日 本 共 産 党		1名
		山本 里 香
草 の 根 運 動 い が		

休 憩

○議長（青木謙順） 着席のまま、暫時休憩いたします。

午前11時17分休憩

午前11時18分開議

開 議

○副議長（稲垣昭義） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程追加・常任委員の辞任

○副議長（稲垣昭義） この際、申し上げます。

青木謙順議員から教育警察常任委員の辞任願が提出されましたので、会議規則第18条第1項の規定により、常任委員辞任の件を日程に追加し、直ちに議題といたします。

お諮りいたします。委員会条例第10条第1項の規定により、青木謙順議員の教育警察常任委員の辞任を許可することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（稲垣昭義） 御異議なしと認めます。よって、青木謙順議員の教育警察常任委員の辞任を許可することに決定いたしました。

この際、申し上げます。

ただいま選任されました各常任委員会、議会運営委員会並びに特別委員会の委員の方々は、それぞれの委員会において委員長及び副委員長を互選の上、御報告願います。

休 憩

○副議長（稲垣昭義） 常任委員会、議会運営委員会並びに特別委員会の委員長及び副委員長互選のため、暫時休憩いたします。

午前11時20分休憩

午後1時15分開議

開 議

○議長（青木謙順） 休憩前に引き続き会議を開きます。

諸 報 告

○議長（青木謙順） この際、報告いたします。

各常任委員会、議会運営委員会並びに特別委員会において、それぞれ委員長及び副委員長を、お手元に配付の委員長及び副委員長名簿のとおり互選した旨の報告がありました。

次に、議案第87号が提出されましたので、お手元に配付いたしました。

以上で、報告を終わります。

委員長及び副委員長名簿

（各常任委員会、議会運営委員会、各特別委員会）

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長
総務地域連携デジタル社会推進常任委員会	森野 真治	石垣 智矢
戦略企画雇用経済常任委員会	野村 保夫	津村 衛
環境生活農林水産常任委員会	野口 正	中瀬 信之
医療保健子ども福祉病院常任委員会	田中 智也	山本佐知子
防災県土整備企業常任委員会	山崎 博	平畑 武
教育警察常任委員会	田中 祐治	喜田 健児
予算決算常任委員会	石田 成生	藤田 宜三
議会運営委員会	小林 正人	藤根 正典
花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会	小林 正人	藤田 宜三

提 出 議 案 件 名

議案第87号 監査委員の選任につき同意を得るについて

四日市港管理組合議会議員の選挙

○議長（青木謙順） 日程第8、四日市港管理組合議会議員の選挙を行います。

なお、選挙すべき議員の数は3名であります。

お諮りいたします。選挙の方法につきましては、地方自治法第118条の規定により指名推選とし、指名の方法は、議長において指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（青木謙順） 御異議なしと認め、ただいまから指名いたします。

平 畑 武 議員

野 口 正 議員

石 田 成 生 議員

以上の方々を指名いたします。

ただいま指名いたしました3名の方を当選人と定めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（青木謙順） 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました3名の方が四日市港管理組合議会議員に当選されました。

当選されました方が議場におられますので、当選の通知をいたします。

監 査 委 員 の 選 任

〔11番 下野幸助議員、15番 木津直樹議員離席・退場〕

○議長（青木謙順） 日程第9、議案第87号を議題といたします。

お諮りいたします。本件は人事案件につき、提案説明、質疑並びに委員会付託を省略し、直ちに採決いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（青木謙順） 御異議なしと認め、そのように決定いたしました。

採 決

○議長（青木謙順） これより採決に入ります。

議案第87号を起立により採決いたします。

本案に同意することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（青木謙順） 起立全員であります。よって、本案は同意することに決定いたしました。

〔11番 下野幸助議員、15番 木津直樹議員入場・着席〕

議 員 派 遣 の 件

○議長（青木謙順） 日程第10、議員派遣の件を議題といたします。

お諮りいたします。本件をお手元の配付の一覧表のとおり派遣することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（青木謙順） 起立多数であります。よって、本件はお手元に配付の一覧表のとおり派遣することに決定いたしました。

議 員 派 遣 一 覧 表

1 リニア中央新幹線 建設促進期成同盟会 総会

(1) 派遣目的

リニア中央新幹線の早期建設の実現を強力に推進するために沿線9都府県の期成同盟会等で組織する「リニア中央新幹線 建設促進期成同盟会」が、令和3年度事業計画及び収支予算並びに国、関係機関等への要望活動を決定する「令和3年度総会」に出席する。

(2) 派遣場所 東京都

(3) 派遣期間 令和3年6月4日 1日間

(4) 派遣議員	川口 円 議員	石垣 智矢 議員
	山本佐知子 議員	下野 幸助 議員
	田中 智也 議員	藤田 宜三 議員
	稲垣 昭義 議員	小林 正人 議員
	谷川 孝栄 議員	長田 隆尚 議員
	三谷 哲央 議員	津田 健児 議員
	前野 和美 議員	

○議長（青木謙順） これをもって本日の日程は終了いたしました。

休 会

○議長（青木謙順） お諮りいたします。明19日から6月1日までは委員会の所管事項調査等のため休会といたしたいと存じますが、御異議ありませんか。
〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（青木謙順） 御異議なしと認め、明19日から6月1日までは委員会の所管事項調査等のため休会とすることに決定いたしました。

6月2日は、定刻より本会議を開きます。

散 会

○議長（青木謙順） 本日はこれをもって散会いたします。

午後 1 時19分散会